

雑誌類等の品揃えが充実していることなどはすばらしいと感じた。しかし、ネット社会が進行している現在、出版業界は最盛期の売り上げの3分の2まで落ち込んでおり、図書館を充実させることは、他の関連産業とのバランスを考えると若干の違和感を覚えた。

問 本市の図書館設立の経緯、現在の蔵書数、入館者数、開館日数等はどうなっているか。

答 市立図書館の建設以前は、市内には県立榎原図書館があったが、相当古い施設であった。また、市としての市民全体を対象とした図書の閲覧や貸し出しの場所は、中央公民館に図書室があるのみという状況であったため、図書館開設を要望する市民の声もあり、万葉ホール建設を機に平成8年7月に図書館を設置することとなった。蔵書数等のデータとしては、平成26年10月31日現在で開架図書13万4,690冊、閉架図書16万5,364冊、合計30万54冊。入館者数は、平成26年4月から10月までの間の1日平均は、平日が572人。土、日曜日が902人。祝日が719人であった。開館日数は、開館当

初の平成9年度は269日であった。平成13年度より市の公共施設が祝日の翌日も開館することにあり、また蔵書点検日を工夫することで開館日が増加し、平成26年度は284日になる予定である。

問 平成18年に目標の30万冊蔵書が達成されて以降、図書館予算が頭打ちになっているように思う。特に図書購入費は12市中ワースト2であり、トップは本市の4倍強である。目標蔵書数の達成は、図書館行政として一つの区切りだったと思うが、その結果図書館については重点政策ではなくなったのか。

答 蔵書目標達成以後は、拡大目的の新規調達から、良好な維持へと方向転換している。図書購入予算は蔵書形成期と比べて減少しており、平成25年度決算では図書資料費は約1千万円、平成26年度もほぼ据え置き状況であるが、子育てや健康、福祉、環境等利用者ニーズが高い分野について、限られた予算の中で重点的な購入に努めていく。

問 平成19年に視聴覚ブースを撤去した理由は何か。

答 IT技術進展に伴い、テ

ープ、VHSビデオ等が廃れていったこと、視聴覚機器やコンテンツの保守や修理についても費用、対応可能性の点から難しくなってきたこと、レンタル店、インターネット等の普及で図書館での提供の必要性が低いことなどから、より必要頻度の高い図書資料に費用を優先し、視聴覚コーナーを撤去した。撤去したスペースは、幼年者向けの絵本コーナーとして改修し、面展示等の閲覧方法を工夫した結果、利用者から好評をいただいた。

問 平成23年に小学校図書館向き貸し出し図書の配本サービスが開始されているが、その他に学校現場での図書館の関わり等はあるか。

答 図書館開館以前に存在した榎原市移動文庫の機能を引き継いだ団体図書の貸し出しを行っており、地域の読書活動を担う拠点としての機能を一部代替している面がある。また、子どもの読書活動促進のためにも非常に大切な取り組みとして捉えている。各団体への配本、回収は図書館で行っている。団体貸し出し機能の一つとして、学校図書館

の蔵書を補完する役割があり、市内各小学校で利用いただいている。

問 ホームページから利用できる予約サービス等のスマートフォンへの対応は可能か。

答 可能だと思うが、システム導入時期等の問題もあるため、適用する時期も含めて今後検討したい。

問 図書館運営について、生駒市のような直営と武雄市などの指定管理のメリット、デメリットを聞きたい。

答 直営では、施設としての図書館運営を担いながら、図書館に関わる企画調整的な行政事務を行っているため、現場運営と政策的方向性が一体的に包括されるメリットがある。デメリットとしては、開館日数の制限、また経費的にも指定管理に比べて負担が多いことが挙げられる。指定管理では、企業的手腕により空間構成、集客といった面で新しい取り組みを行うことに優れている場合が多く見られる。その反面、企画、イベント等の開催に直接行政職員が関与することがなくなり、協力団体等との連携のスムーズさに欠ける懸念がある。

問 最近の図書館では自習ができなくなっているが、自習室についての考えを聞きたい。

答 現在は1人でも多くの市民の利用を期待している中で、長時間の専有が生じる自習室は設けていないが、今後、市全体の庁舎整備が進んで万葉ホールにも余裕ができれば、その段階で検討すべき課題の一つであると考えている。

問 生駒市の分室のように駅前の利便性を活用することを考えると、八木駅南の複合施設建設に当たって、にぎわいの創出という意味で図書室の設置も可能かと思うが考えは。

答 にぎわいを創出し、人々が交流できるように、ホテルにきた方や市民の方、観光客にも集ってもらえる約200平米のスペースを考えているが、その中に図書室のような場所もあればいいと思う。可能か不可能かを含めて業者とも話し合いをしていきたい。

問 かしはらナビプラザ、万葉ホール、中央公民館など図書館を含めた市の公共施設について、ファシリティマネジメントに基づく考えは。

答 平成27年度中に公共施設等の総合管理計画をまとめて